

テラバトル米 ハルヒカリ通信 Vol.1

弊誌9月14日増刊号(8月31日発売)に掲載した“ファミ通1500号記念コラボプロジェクト”。ミストウォーカーさんのご理解のもとスタートした企画。今回は、坂口博信氏や、『テラバトル2』シナリオ担当の波多野大氏も参加した8月1日の田植えから、約1ヵ月後の様子をお届けします。我々が再び高知県を訪れたのは、9月8日。日差しの強い南国土佐ですが、8月7日には台風5号が通過！ 植えたばかりのハルヒカリは大丈夫なのか!?



↑顔がまったく見えないですが、写真左から、坂口博信氏、波多野大氏、本誌編集長の林。高知県の一部地域ではお米の二期作が行われており、8月の田植えが可能です。

前回お届けした田植えの振り返り



←水田すべては手植えできないので、文明の力を投入。業界震撼の()坂口さん爆走ショットがコチラ。

わずか1ヵ月で稲が約50センチも伸びている！



↑→ここ1ヵ月の変化を比較すると、稲の成長は一目瞭然。子どもたちがダイブしていた泥の水田が青々としています。お米の成長の早さに驚き！

ゲームファン大注目のゲームアプリ『テラバトル2』とは？

『テラバトル2』は、ミストウォーカーとシリコンスタジオが手掛けるスマホ向けのゲームアプリ。毎週1章ずつストーリーが配信され、全50章の予定で“テラ”の物語が紡がれていくという大型RPGだ。大きな魅力のひとつは、個性溢れる“守護者”たち。バトルの戦略性にも紐づく重要な存在なのだが、本企画ではそんな守護者の中から、ハルヒカリとのコラボが実現！

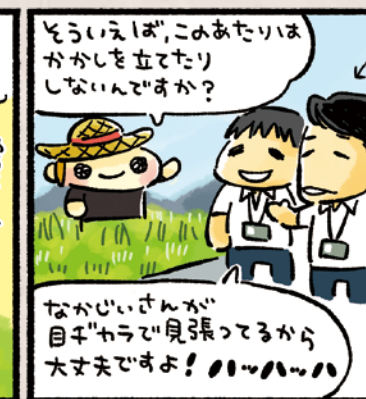
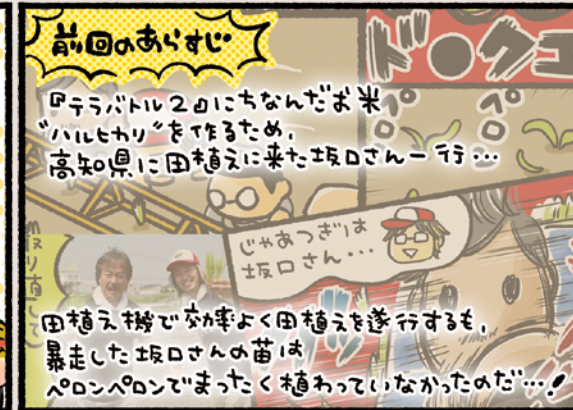
『テラバトル2』守護者 ハルヒカリ

←ハルヒカリは、『テラバトル2』に登場する“守護者”のひとつ。守護者は多数登場し、ユニットキャラクターとの組み合わせで、戦闘のプレイスタイルや戦略性が大きく変わる。

→バトルは、広大なフィールドでユニットを移動させながら展開。エンカウント枠内に敵が入ると戦闘へ移行！



↓バトルの基本は、敵ユニットを自ユニットのコマで挟むだけ。奥深い戦略性とド派手な演出が楽しめる！



次回は10月末に生育状況をお届け！ どうなる、ハルヒカリ!?